



# 令和3年度第3次12月補正予算の概要

ひとりひとりの行動が  
福岡を救う。日本を救う。

福岡県





# 令和3年度第3次12月補正予算のポイント

## 1 予算編成 の考え方

- 国の補正予算を最大限活用し、「新型コロナウイルス感染症対策」、「地域経済の活性化と成長・発展」に取り組むほか、「安全・安心の確保」に必要な経費を計上。

## 2 補正予算 の規模

(単位:百万円)

区分	当初予算 A	9月補正後 予算 B	12月補正予算			合計 F=C+D+E	12月補正後 予算 G=B+F
			当初 提案分 (第15号) C	追加 提案分 (第16号) D	第3次 提案分 (第17号) E		
一般会計	2,136,138	2,618,002	1,753	△2,992	86,829	85,591	2,703,593
特別会計	944,897	944,897	0	0	0	0	944,897
計	3,081,035	3,562,899	1,753	△2,992	86,829	85,591	3,648,490

※ 補正予算第16号は、12月8日に議決済み

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上合計が一致しない箇所がある

## 3 主な内容

(単位:百万円)

項目	予算額	財源内訳			一般財源
		特定財源			
		国庫	県債	その他	
○新型コロナウイルス感染症対策	19,427	9,924	17	0	9,486
1. 感染防止対策と保健・医療提供体制の強化	14,013	5,195	17	0	8,801
2. 事業継続と雇用・生活の支援	5,414	4,729	0	0	685
○地域経済の活性化と成長・発展	15,710	11,826	205	40	3,639
○安全・安心の確保	51,692	23,395	27,274	822	201
合計	86,829	45,145	27,496	862	13,326

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 128億円  
繰越金 5億円



# 新型コロナウイルス感染症対策

## 感染防止対策と保健・医療提供体制の強化

### ■ 感染防止対策の強化

**新規**

- 無料PCR等検査を実施 77億8,425万2千円

[感染拡大時の一般検査事業（事業期間 令和3~4年度）]

対象者：特措法に基づく知事の検査要請を受けた、感染不安を感じる方

[ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業（事業期間 令和3年度）]

対象者：ワクチン・検査パッケージ制度（※）等を利用する場合で、健康上の理由等によりワクチン接種ができない方

（※）ワクチン・検査パッケージ制度

飲食店やイベント主催者等の事業者が、入店者や入場者等の「ワクチン接種歴」又は「PCR等検査結果の陰性」のいずれかを確認することにより、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等において課される行動制限を緩和する制度。

**新規**

- 変異株の監視体制を強化 1億5,390万9千円

- ・ オミクロン株や今後新たに発生する変異株に迅速に対応するため、変異株のPCR検査・ゲノム解析を民間検査機関へ委託

**新規**

- 「福岡県宿泊施設感染防止対策認証制度」を創設 5,110万3千円
  - ・ 安心して宿泊施設を利用できるよう、調査員が訪問して宿泊施設の感染防止対策を県独自の基準で認証（約2,000施設）
- 地域公共交通における感染防止対策を支援 1億8,474万4千円
  - ・ 地域鉄道、乗合バス、タクシー事業者が行う車内消毒・消毒液の購入等を支援
- 学校等における感染防止対策を支援 7億5,545万円
  - ・ 幼稚園、小・中・高・特別支援学校等が行う消毒液購入等を引き続き支援



<地域公共交通の感染防止対策>

## ■ ワクチン接種体制の強化

- 個別接種を促進 41億9,554万6千円
  - ・ ワクチンの3回目接種に向け、接種回数や人員を増やした医療機関に対し、通常の接種単価（※）に上乗せ支給を実施

診療所	病院
<p>① 50回以上/日の接種を行った場合に、10万円/日を支給</p> <p>② 「12・1月」及び「2・3月」の各期間中に4週間以上、 ア 100回/週 の接種を行った場合は、2,000円/回 イ 150回/週 の接種を行った場合は、3,000円/回 を支給（①との重複は不可）</p>	<p>③ 通常診療と別に人員を確保し、50回以上/日の個別接種を週1日以上達成した週が、「12・1月」及び「2・3月」の各期間中に4週間以上ある場合は①に追加支給 [補助単価] 医 師：7,550円/人・時間 看護師等：2,760円/人・時間</p>

（※）医療機関に対する接種単価（市町村から医療機関へ支払われるもの）  
2,070円/回（時間外加算 +730円、休日加算 +2,130円）

## ■ 保健・医療提供体制の強化

新規

- 自宅療養者に対する健康観察を強化 3億1,916万8千円
  - ・ 保健所が行う自宅療養者の健康観察を迅速に行えるよう看護師等を増員
  - ・ 症状が悪化しているなどの自宅療養者に対し、看護師が直接訪問し健康観察を実施
  
- 感染管理リーダー看護師研修会を実施 1,087万5千円
  - ・ 院内感染やクラスターの発生を予防するため、病院・有床診療所の看護師を対象とした研修会を実施

## 事業継続と雇用・生活の支援

### ■ 事業継続の支援

- 地域の公共交通を維持 6億850万円
  - ・ コロナ禍により乗客が減少している地域鉄道、乗合バス事業者の事業継続のため、支援金を給付

## ■雇用対策の強化

新規

### ○ひとり親家庭等の女性を支援 2,885万3千円

- ・ 離職したひとり親家庭等の女性が、早期に再就職できるよう、個々の希望に合った企業を開拓し「有給インターンシップ」等を実施（子育て女性就職支援センター）

### ○新規大卒未内定者を支援 568万5千円

- ・ 来春卒業予定の未内定学生を集中的に支援するため、大学での個別就職相談や面接対策セミナーを実施（若者就職支援センター）

### ○人材不足分野での就職・人材確保を支援 1,233万4千円

- ・ 社会経済活動の再開により人材確保ニーズが高まっている飲食・宿泊・サービスの業種、人材不足業種（介護・建設・運転・保安）、IT関連職種に重点を置いた就職面接会を実施



## ■生活困窮者の支援

### ○生活福祉資金特例貸付の申請期間を延長 47億1,009万7千円

[緊急小口資金] 貸付上限20万円、無利子

[総合支援資金] 貸付上限180万円（60万円（3か月分）×3回）、無利子

[申請期間] 緊急小口資金及び総合支援資金（初回）は令和4年3月末まで  
総合支援資金（再貸付）は令和3年12月末まで



# 地域経済の活性化と成長・発展

## 次代を担う「人財」の育成

**新規**

- **中小企業におけるDX推進人材を育成 9,103万1千円**
  - ・ 「九州DX推進コンソーシアム」(※)において、実践的なデジタル人材育成プログラムを構築し、中小企業でDXを推進する「中核人材」と、DXの導入を助言する「支援人材」を育成
  - (※) 地域におけるデジタル人材育成と産業創出を推進するため、九州経済連合会、九州大学、デロイトトーマツ、福岡県で構成される産学官金連携組織(令和3年11月設立)
- **先端半導体等の高度技術人材を育成 5,522万9千円**
  - ・ 半導体の三次元実装技術等に関する講座を拡充(6講座)
  - ・ 技術講座をオンライン配信する「Webカレッジ」を、1年前倒しで整備(全44講座)

**新規**

- **農業におけるDX人材を育成 2,700万3千円**
  - ・ 農業大学校に農業DX対応型の研修用ハウスを整備し、ハウス内環境の遠隔監視システムなどを取り入れた実習やリカレント教育を実施

**新規**

- **デジタル・グリーン人材を育成 3,316万5千円**
  - ・ 県立高等技術専門校に、次世代自動車整備士や左官分野のドローン技術者育成のための訓練機器等を整備

○ 県立学校のICT環境を整備 6,465万8千円

- ・ 県立学校の学習用インターネット回線を増設

## 本県経済を支える中小企業の支援

○ DX、経営革新を推進 6億1,598万6千円

- ・ 【新】「福岡県中小企業生産性向上支援センター」の支援を受け、デジタル技術を活用した生産性向上に取り組む中小企業の設備導入を支援
- ・ 【新】新技術・新製品開発支援のため、食品成分マルチ分析システムなどの機器を工業技術センターに整備するとともに、新製品等の開発経費を助成
- ・ 中小企業診断士が経営革新計画の策定を支援するとともに、新商品・新サービス開発などの新たな取組を支援



<工業技術センターによる技術支援>

○ 地域商品券を追加発行 12億4,789万3千円

- ・ 年度末の消費需要を下支えするため、プレミアム付き地域商品券を追加発行

[発行規模] 132億円（うちキャッシュレス 73億円）

[発行時期] 令和4年1月～3月

[プレミアム率] 20%以上



<キャッシュレス商品券による支払いの様子>



# 稼げる農林水産業の振興

## ○ 農業DXを推進 3億5,690万2千円

- ・ スマート農業機械を導入し、デジタルデータを活用した生産性向上に取り組む農業者を支援

	対象者	対象経費	補助率
水田 農業	認定農業者、 営農集団 等	ロボットコンバイン、ロボットトラクター、 ロボット田植機、農業用ドローン 等	県 1/3 市町村 1/6
園芸 農業		総合環境制御システム、炭酸ガス貯 留機、生産情報集約システム 等	1/2
畜産業		畜舎内環境制御システム、自動給 餌機、牛個体管理システム	1/2



<ロボットトラクターによる無人運転>



<牛個体管理システムを装着した和牛>

## ○ 高性能機械・設備導入により生産性を向上 39億9,026万8千円

- ・ 麦・大豆の農作業の集約化、生産拡大に必要な高性能機械導入を支援
- ・ 【新】もみ殻を燃焼し、エネルギーや肥料として利用できるバイオマスプラントの整備を支援
- ・ コスト削減・高収益作物への転換のため、低コスト耐候性ハウス等の導入を支援
- ・ 牧草類の輸入停滞や配合飼料高騰のため、自給飼料の生産に必要な機械導入を支援
- ・ 【新】林業用運搬ドローンなどのスマート林業機械導入を支援
- ・ 間伐材の生産・搬出や路網、木材加工施設の整備を支援



<低コスト耐候性ハウス>

## ○ 県産品の販売・消費を拡大 7億2,529万6千円

### [県産酒の輸出拡大] 9,427万5千円

- ・【新】中国の主要8都市で高級中華レストラン向け商談会を開催し、“中華料理には福岡県産酒”とのイメージを定着させ、販路を拡大
- ・【新】酒蔵の海外展示会への出展支援、輸出会社とのマッチング商談会を実施
- ・【新】輸出に意欲的な酒蔵の海外用営業ツールの作成を支援



<福岡の酒>

### [県産水産物の消費拡大] 2億5,051万5千円

- ・【新】「福岡有明のり」の外食産業への取引拡大を図るため、首都圏で高価格帯の飲食店を対象としたフェアを開催
- ・【新】糸島漁協が行う共同利用施設（カキ小屋）の整備を支援
- ・【新】「ふくおかの地魚応援の店」での「ふくおかの魚フェア」開催や、通販サイトで地魚料理等の情報を発信

### [「福岡の食と酒アプリ(仮称)」の開発] 8,536万5千円

- ・【新】県民や旅行者が気軽に「ふくおかの地魚応援の店」や「福岡の地酒・焼酎応援の店」を利用できるように、現在地からの店舗検索や割引クーポンの発行が可能な県公式アプリを開発

### [県産木材の利用拡大] 2億9,514万1千円

- ・ 店舗、オフィス等が行う県産木材を活用したリノベーションを支援

# 処遇改善・働き方改革

新規

## ○ 医療・福祉の現場で働く方々の処遇を改善 77億8,926万5千円

- ・ 救急医療機関（※）の看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）の処遇を改善  
[引上げ額] 4千円/月 [期間] 令和4年2月～9月 （※）搬送回数など国が定める要件を満たすもの
- ・ 介護・障がい福祉サービス事業所等の職員の処遇を改善  
[引上げ額] 9千円/月 [期間] 令和4年2月～9月

## ○ 県行政のデジタル化を推進 4億6,589万2千円

- ・ 行政手続のオンライン申請の対象手続を拡大（2,233手続）
- ・ 【新】タブレット端末で会議資料を閲覧・共有することができるペーパーレス会議システムを導入
- ・ 【新】職員が時間や場所にとらわれず研修を受講することができるリモートラーニングシステムを導入



# 安全・安心の確保

## 豪雨災害の復旧・復興

- 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止 119億578万9千円
  - ・ 災害復旧と併せて行う河川の改良工事を実施
  - ・ 土石流が発生した箇所に砂防ダム等を設置



<災害復旧の状況(砂防施設)>

## 防災・減災

- 緊急輸送道路等を整備 166億4,947万8千円
  - ・ 緊急輸送道路を整備、道路の法面の崩壊・落石対策等を実施
- 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 124億4,390万2千円
  - ・ 河川の護岸、砂防施設、地すべり防止施設等を整備
  - ・ 港湾施設の老朽化対策工事を実施、高潮対策のための護岸等を整備
- ため池等の安全対策を実施 50億2,966万3千円
  - ・ ため池、農業用排水施設等を整備
  - ・ 農業用ハウスの補強や防風ネットの整備費用を助成



<河川の護岸整備>

**新規**

- 通学路の緊急安全対策を実施 16億3,950万4千円
  - ・ 通学路のカラー舗装、歩道整備や横断歩道、標識等の交通安全施設の新設、更新を実施
  - ・ 道路幅の狭い通学路において取締可能な可搬式速度違反自動取締装置を追加配備



<通学路のカラー舗装>